

5. 東海（地域別調査機関：（株）東海総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・単価の高い物、セット商品で数の多い物は低迷しているが、それ以外は個人客向けによく売れるようになってきている。	
		商店街（代表者）	お客様の様子	・今まではとにかく安いものをという客が多かったが、必要に合わせて機能を重視する傾向が出ており、客単価は上昇している。	
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・土産の菓子、地ビールの他にも、レストランなど全事業部門において、プラスで推移している。 ・新規取引の話も増加している。	
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・来客数は前年を下回っているが、春物ファッションの動きが良く、全部門において動きが良い。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・商品単価、客単価は前月と同様前年比96.5%で推移しているが、販売点数と客数増加でカバーしている。食肉の売上は前年比100%を超え、衣料品も早い春の到来で衣料が好調に動いている。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・低迷気味だった衣料品が良くなっている。	
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・客単価は低下しているが、客数は増加している。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価は依然として上昇していないが、来客数の増加が目立ってきている。	
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上の対前年同月比は100%以上に回復している。	
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・コンビニの主力である弁当やおにぎりがやや上向ってきている。	
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型車がよく売れている。若者の購入が増加している。	
		住関連専門店（店員）	販売量の動き	・客単価は低下しているが来客数は増加しており、販売量は増加している。	
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・客数は少し戻ってきている。	
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・全体としては減収傾向が続いているが、一部の店舗では売上目標の達成もしくは前年比増収に転じ始めている。	
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・単価は横ばいだが、来客数は多少増加している。	
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・イベントの参加者数が順調に伸びており、来客数、売上ともに増加している。	
		テーマパーク（職員）	販売量の動き	・弁当持参の客が多く財布のひもは依然として堅いが、来客数は増加している。	
		変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・定番商品は動いているが、自家消費が伸び悩んでいる。
			一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・無駄な買物を控える傾向が続いている。
	一般小売店〔酒〕（経営者）		販売量の動き	・新製品に飛びつく客は少なく、新商品が売れてもその分従来商品が売れなくなるため、売上は伸びない。	
	百貨店（売場主任）		お客様の様子	・入学、卒業服を購入する際に、単価の安い物や必要最低限の着こなしで済ませようとする動きがある。	
	百貨店（企画担当）		単価の動き	・カード顧客の優待セールでまとめ買いをする客が増加しているため、客単価が低下している。	
	百貨店（売場担当）	単価の動き	・客単価に変化はない。		
スーパー（店員）	お客様の様子	・販売状況は相変わらず悪い。			
スーパー（仕入担当）	単価の動き	・競合店のスーパー各社のチラシをみても、数か月前に比べて安くなっている。			
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・単品ではヒット商品といえるものもあるが、全体的な売上は対前年比で98%程度の状況は変わっていない。			
コンビニ（店長）	来客数の動き	・パレタインデーに続きホワイトデー商品も売れず、本当に必要な物しか買わない状態が続いている。			

	衣料品専門店 (店員)	お客様の様子	・セールなどを実施すると客は増えるが、通常では客は来ない。
	衣料品専門店 (企画担当)	お客様の様子	・必要な物しか買わない傾向が続いている。
	家電量販店(店員)	販売量の動き	・若干上向いている感もあるが、販売量に大きな差はない。
	家電量販店(店員)	競争相手の様子	・昨年のリサイクル法の反動で、対前年比約80%で推移している。
	家電量販店(従業員)	販売量の動き	・数量、単価ともに、各メーカーの商品とも下げ止まっていない。
	自動車備品販売店(経営者)	来客数の動き	・来客数がかなり減少している一方で、客単価は相変わらず上昇してこないため、売上が増加しない。
	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・動きの良い週の翌週はさっぱりということもあり、客の動きが持続しない。
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新型車の販売に伴い、来客数が増加している。また既存車も前年を上回る売行きで推移している。ただ工場の入庫率は対前年比で減少しているため、トータルで見ると変わっていない。
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・法人需要は期待ほど伸びなかったが、個人消費に助けられて対前年比10%程度の落ち込みでくい止めている。
	乗用車販売店(総務担当)	競争相手の様子	・新型の小型車は上向き始めているが、全体にはまだまだである。
	その他専門店 [貴金属](店長)	お客様の様子	・来客数と売上点数は増加しているが、客単価が期待ほど上昇しない。
	その他小売[総合衣料](店員)	お客様の様子	・スーツの価格は相変わらず上昇せず、数量は出ても売上が変わらないため利益が取りにくい。
	高級レストラン(経営者)	単価の動き	・半額セットがよく注文され来客数は増加しているが、単価の下落で売上は前年並みである。
	観光型ホテル(スタッフ)	単価の動き	・1泊2食のセット型よりも宿泊と食事が分離している選択型が増加しており、宿泊の総合単価は低下している。
	都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・宴会の件数は減少しているが、宿泊、レストラン利用は増加している。
	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・販売量に変化はない。
	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・料金が安い物はそれなりに売れているが、高い商品には客はなかなか飛びついてこない。
	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・低額商品をターゲットにした人が多い。
	通信会社(企画担当)	お客様の様子	・新規顧客数、追加契約ともに大きな変化はない。
	通信会社(社員)	販売量の動き	・受注数は大きな増加はないが、極端に減少することもない。
	テーマパーク(職員)	来客数の動き	・上向きにはなっていないが、極端に少ないということもない。
	ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・暖かい日が多く入場者数は順調だが、他のゴルフ場との集客競争でプレー料金の安売りが目立つ。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・散髪回数が依然として減ってきている。
	住宅販売会社(企画担当)	単価の動き	・契約単価が非常に低下している。
やや悪くなっている	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・平日の紳士フロアが閑散としているなど、来客数はさらに減っている。土日は家族連れが多いが、あまり買わない。
	百貨店(企画担当)	販売量の動き	・ヤング向けファッション商材は好調であるが、それ以外は前年実績を確保できない商材が多い。
	スーパー(経営者)	単価の動き	・地域に大型店が進出し、競争がますます激化している。地元のスーパーのなかには閉店するところもある。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・各店舗をこまめに回って、買い得品を少量ずつ買っていく傾向が顕著になっている。
	スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は依然として低迷している。また、低単価商品も販売量は以前ほど動いていない。産地偽証問題も買い控えに影響している。

		コンビニ（経営者）	それ以外	・年度末を迎え、実際に廃業したり廃業を考えている店舗の話をよく聞く。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は順調だが、送別会利用が少ない。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・売上が増加していない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・歓送迎会後にタクシーを使用する客が少ない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・歓送迎会のシーズンだが、終了後は公共交通機関に直行しているようである。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・カットやヘアカラー、パーマの周期が延びている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・春の需要期を迎えても、一向に売上が増加していない。
		一般小売店[わさび漬]（経営者）	販売量の動き	・1人当たりの買上点数が少なく、客単価も低い。
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・暖冬の影響で燃料の売上が極端に悪い。また1人当たりの買上点数が伸びず、余分な物は買わない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・歓送迎会の時期であるが、単価の下落に加えて、来客数の減少に頭を悩ませている。
		設計事務所（営業担当）	それ以外	・売上は過去最悪の状態である。
		住宅販売会社（業務担当）	お客様の様子	・倒産の影響が間近に出ている。
企業動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	化学工業（企画担当）	取引先の様子	・欧米からの引き合いが活発になってきている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物量の増加が見られる。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料が値上がりしているにも関わらず、値下げしないと受注できない。
		化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・コスト競争が安定してきている。低単価でのコスト競争が減少してきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は勢いが続かず、外国販売も米国テロの影響から依然として立ち直れない状況にあるが、円安による為替差益がプラス要因となっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・通常に戻りつつある。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・国の事業関連で、ケーブルテレビのインフラ整備による好影響が依然として続いている。
		建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・依然として新規の大型工事物件がなく、工事物件が小型化しており、受注量も減少している。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年と比べても荷動きが非常に低調である。運賃単価の値引き要請もある。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・荷物量に変化はない。
		金融業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注件数等に変化はない。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・顧客企業からの受注量等はほとんど変わらない。
		公認会計士	取引先の様子	・IT関連企業の業況回復兆候がみられず、中小企業の廃業も依然として多い。
	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅着工件数、特にマンション建築が下降に転じたため、タイル業界からの受注量が減少している。
		非鉄金属製造業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・単価の下落が一段と厳しくなっている。
		一般機械器具製造業（販売担当）	取引先の様子	・キャンセルになる引き合いが増えている。
		電気機械器具製造業(従業員)	受注価格や販売価格の動き	・ほとんど動きのない物にまで値下げ要求がきている。外注価格の全面見直し、多くの顧客で行われている。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注価格や販売価格の動き	・受注単価の低減要求がますます強くなってきており、採算確保が難しくなっている。

		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注件数に大きな変化はないが、請負金額がかなり低下している。
悪くなっている		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・コストダウンの依頼が多く単価は低下しているが、販売量も減少し、見積依頼も減少している。
		非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	受注量や販売量の動き	・競争が一段と激しくなっており、販売量の減少と単価の下落が続いている。
		輸送業（エリア担当）	それ以外	・売上低迷のため、トラックの買い換え、代替えを先伸ばしている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・引き合いが減少している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・IT関連と自動車関連の一部で採用者数が急増している。全体的にも、求人数が上向きつつある。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	求人数の動き	・中小零細企業の求人も、アルバイトやパート中心ながら増加傾向が見られ始めている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・依然として求人広告は低迷しているが、パートやアルバイト、業務請負はかなり回復してきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告受注は、対前年同月比で1月から上向き傾向となっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・住宅、運輸、卸関係はやや低調であるが、メーカー、情報関連では急激に伸びている。全体の求人数は前年比で30%増である。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・正社員の代替のための派遣社員要請が依然として多い。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・契約を打ち切られるケースが相変わらず増えている。特に通信、銀行関係で業務縮小理由が目立っている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・不況対策による派遣解雇は一段落した様子が、多くの企業でうかがえる。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・求職者数の増加傾向が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数はかなり減少している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・企業のリストラが一層進んでいるため、会社都合による退職者の求職申込が激増している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は依然として増加傾向にある。また、求人数も増加しているものの、マッチングする件数が減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・対前年同月比で求人数は新規、有効ともに減少しているが、求職者数は新規、有効ともに増加している。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・前年同月と比べても、3か月前と比べても、明らかに受注が減少している。
		民間職業紹介機関（エリア担当）	求人数の動き	・求人数の落ち幅は小さくなりつつあるものの、まだ下げ止まっていない。
悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・企業の受注減による人員整理、資金繰り悪化による倒産で退職を余儀なくされ、求職に来所する人が増加している。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・下落傾向に歯止めがかかりつつあるものの、有効求人倍率は悪化を続けている。	